PAT-NO:

JP409036859A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09036859 A

TITLE:

MONITORING INFORMATION REPEATING METHOD AND DEVICE

THEREFOR

PUBN-DATE:

February 7, 1997

INVENTOR-INFORMATION: NAME SAITO, FUMIHIKO HOSOKAWA, TAKAHIRO SAITO, EIKI HAYASHI, KONAMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

FUJITSU LTD

N/A

APPL-NO: JP07183904

APPL-DATE:

July 20, 1995

INT-CL (IPC): H04L012/24, H04L012/26, G06F013/00, G08B025/00, H04B017/02 , H04L029/14

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To more reduce the processing burden of a monitoring device and to improve processing speed by collectively transmitting collected device monitoring information and state monitoring information to the monitoring device as serial signals for every device to be monitored.

SOLUTION: The monitoring device 54 is connected to one or plural monitor information repeating devices 50 through a common serial communication line. When the monitoring device 54 gives the request of monitoring information to the respective monitoring information repeating device 50, the respective monitoring information repeating devices 50 transmit monitoring information collected from the connected device being the monitoring objects 55 as the serial signals for the respective devices being the monitoring objects 55 in accordance with the requests. Thus, monitoring information by which a priority processing is terminated for the respective devices being monitoring objects 55 can be transmitted to the monitoring device 54. Then, the monitoring device 54 may execute only the priority processing straddling the devices being monitoring objects 55 or the monitoring information repeating devices 50 to reduce the burden of the monitoring processing.

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-36869

(43)公開日 平成9年(1997)2月7日

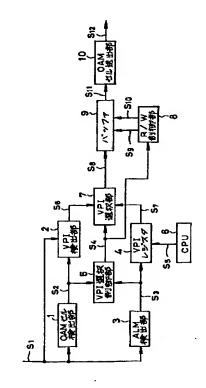
| (51) Int.CL ⁶ | | 識別記号 | 庁内整理番号 | FΙ | | | | | | 技術表示箇所 |
|--------------------------|-------|---------------------|---------|--|-----|------------|----|-----|--------------|--------|
| H04L | 12/28 | | 9466-5K | H0 | 4 L | 11/20 | | | D | |
| H04B | 3/46 | | | H04 | 4 B | 3/46 | | | В | |
| H04L | 12/24 | | | н0- | 4 Q | 3/00 | | | | |
| | 12/26 | | 9466-5K | но- | 4 L | 11/08 | | | | |
| | 29/14 | | | | | 13/00 | | 313 | 3 | |
| | | | 審査請求 | 未請求 | 制求 | 項の数3 | OL | 全 5 | 頁) | 最終頁に続く |
| (21)出願番号 | | 特顧平7 -180402 | | (71)出顧人 000232047 | | | | | | |
| (22)出顧日 | | 平成7年(1995)7月17日 | | 日本電気エンジニアリング株式会社 東京都港区芝浦三丁目18番21号 (72)発明者 小笠原 和秀 東京都港区芝浦三丁目18番21号 日本電気 エンジニアリング株式会社内 | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | (74) | 代理人 | 护理士 | 京本 | 直樹 | G \$2 | 2名) |
| | | | | | | | | | | |

(54) 【発明の名称】 OAMセル送出回路

(57)【要約】

【目的】 ATMシステムにおいて、伝送路障害時とバス障害時との対向局へのOAMセル送出をなす場合、両OAM送出系を共通化する。

【構成】 OAMセル検出部1で特定パス障害を検出した場合(S2)と、ALM検出部3で伝送路障害を検出した場合(S3)とで、VPI選択部7を夫々制御し、各場合の検出VPI値S6, S7を共通のバッファ9へ択一的に書込む。読出しは同じく各場合で択一的に読出す。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 特定パス障害を示すOAM (Operation Administration Monitor) セル検出時におけるVPI (Virtual Path Identifier) 値と伝送路障害時におけ るVPI値とを夫々OAMセルにて対向局へ送出するO AMセル送出回路であって、これ等2種のOAM値を共 通に格納する格納手段と、前記特定パス障害を示すOA Mセル検出に応答して前記格納手段から対応するVPI 値を読出し、また前記伝送路障害時に応答して対応する VPI値を定期的に読出す制御手段とを含むことを特徴 10 とするOAMセル送出回路。

【請求項2】 前記特定パス障害を予め定められたOA Mセルパターンにより検出するOAMセル検出手段と、 このOAMセル検出手段の検出結果に応答して前記特定 パス障害のOAMセルのVPI値を検出して前記格納手 段へ格納する手段と、前記伝送路障害を検出する伝送路 障害検出手段と、この伝送路障害の検出に応答して当該 障害伝送路のVP I 値を生成して前記格納手段へ格納す る手段とを含むことを特徴とする請求項1記載のOAM セル送出回路。

【請求項3】 前記格納手段はFIFO (First In Fir st Out) バッファであることを特徴とする請求項1また は2記載のOAMセル送出回路。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明はOAM(Operation Admi nistration Monitor) セル送出回路に関し、特にATM (非同期転送モード; Asynchronous Transfer Mode) 通 信システムにおける伝送路やパス障害時の警報転送をな すOAMセル送出回路に関するものである。

[0002]

【従来の技術】ATM通信システムでは、伝送路障害時 及びバス障害時には、対向局に対してOAM(VP-F ERF: Far End Remote Failure) セルを送出すべき規 定がある。この規定では、伝送路故障時には故障箇所全 てのVPについてVPI (Virtual Path Identifier) O番から昇順に約90μsの間隔でVP-FERFセル を送出し、伝送路故障中は同一VPIに対して1秒毎に VP-FERFセルを送出し、またパス障害検出時には その検出毎にVP-FERFセルを送出する必要があ

【0003】従来のこの種のOAMセル送出回路の例と しては、特開平4-177924号公報に開示のものが あり、図3にその概略構成例を示す。図3において、O AMセル検出部1は伝送路S1から特定パス障害を示す OAMセルを検出すると、OAMセル検出信号S2をV PI検出部2へ供給する。

【0004】 VP I 検出部2はOAMセル検出信号S2 の供給を受けると、特定パス障害のOAMセルのVPI 値S6を検出してOAMセル送出部11へ渡す。OAM 50 【0013】図1は本発明の実施例のブロック図であ

セル送出部11はこのVPI値S6を受けて、対向局へ 送出すべきOAMセルを生成し、バッファ13を介して 対向局へOAMセルS12として送出する。

【0005】また、ALM検出部3は伝送路障害を検出 するものであり、伝送路S1から伝送路障害時のALM (アラーム情報)を検出すると、ALM検出信号S3を VPIレジスタ4へ供給する。CPU6は伝送路S1に 使用されているVPI値S5をVPIレジスタ4へ設定 する。

【0006】このVPIレジスタ4はALM検出信号S 3によりCPU6で設定されたVPI値S7をOAMセ ル送出部12へ渡す。OAMセル送出部12はこのVP I 値S7を受けて対向局へ送出すべきOAMセルを生成 し、バッファ14を介して対向局へOAMセルS12と して送出する。

【0007】尚、R/W制御部15, 16はバッファ1 3,14の各書込み読出し制御を行うものである。 [8000]

【発明が解決しようとする課題】 従来の図3に示した構 成では、OAMセル受信時と伝送路障害時との警報転送 に際して、夫々独立にOAMセル送出部分(OAMセル 送出部11,12及びバッファ13,14,R/W制御 部15,16)を設けており、構成が複雑になるという 問題がある。

【0009】本発明の目的は、OAMセル送出部分をO AMセル受信時と伝送路障害時とで共通にすることで回 路構成を簡単化するようにしたOAMセル送出回路を提 供することである。

[0010]

30

40

【課題を解決するための手段】本発明によれば、特定パ ス障害を示すOAM (Operation Administration Monit or) セル検出時におけるVPI (Virtual Path Identif ier) 値と伝送路障害時におけるVPI値とを夫々OA Mセルにて対向局へ送出するOAMセル送出回路であっ て、これ等2種のOAM値を共通に格納する格納手段 と、前記特定バス障害を示すOAMセル検出に応答して 前記格納手段から対応するVPI値を読出し、 また前記 伝送路障害時に応答して対応する VP I 値を定期的に読 出す制御手段とを含むことを特徴とするOAMセル送出 回路が得られる。

[0011]

【作用】特定パス障害のOAMセルを検出したときと、 伝送路障害を検出したときとで、夫々共通のバッファに 対応するVPI値を格納しておき、これ等各検出信号に より対応するVPI値を共通バッファから独立に読出し て送出するようにしている。

[0012]

【実施例】以下、図面を参照しつつ本発明の実施例につ いて説明する。

り、図3と同等部分は同一符号にて示している。図1を 参照すると、OAMセル検出部1は、伝送路S1から特 定パス障害を示すOAMセルを検出したらOAMセル検 出信号S2をVPI検出部2とVPI選択制御部5に送 信する。VPI検出部2は、OAMセル検出信号S2を 受信したら特定パス障害のOAMセルのVPI値S6を VPI選択部7に送信する。

【0014】伝送路障害を検出するALM検出部3は、 伝送路S1から伝送路障害時のALMを検出したらAL M検出信号S3をVPIレジスタ4とVPI選択制御部 10 5へ送信する。CPU6は、伝送路S1に使用されてい るVPI値S5をVPIレジスタ4に設定する。VPI レジスタ4は、ALM検出信号S3によりCPU6で設 定されたVPI値S7をVPI選択部7に送信する。

【0015】VPI選択制御部5は、OAMセル検出信号S2とALM検出信号S3とに応答して選択信号S4をVPI選択部7とR/W制御部8に送信する。VPI選択部7は、選択信号S4により特定パス障害を示すOAMセルに対するVPI値S6か障害伝送路に対するVPI値S7のどちらかを選択し、選択されたVPI値S208をバッファ9に送信する。

【0016】R/W制御部8は、選択信号S4に応答して書込み信号S9と読出し信号S10をバッファ9に送信する。読出し信号S10は選択信号S4が伝送路障害時ならば、定期的に読出し信号S10を送出する。選択信号S4が特定パス障害を示すOAMセル受信時ならば読出し信号S10を即時に送出する。

【0017】バッファ9は、書込み信号S9に応答して 選択されたVPI値S8を書込み、読出し信号S10に 応答してVPI情報S11を出力するFIFO(Fir 30 stIn First Out)メモリである。

【0018】従って、特定パス障害のOAMセル検出時は、選択されたVPI値S8として特定パス障害のOAMセルに対するVPI値S6が選択されバッファ9で即時送出される。伝送路障害時は、選択されたVPI値S

8として障害伝送路に対するVPI値S7が選択され、 バッファ9の定期送出の制御を行う。

【0019】図2はOAMセル検出部1のセルパターンの検出例を説明する図であり、伝送路S1のOAMセルが図2に示すパターンの時に、パス障害であることを検出するようになっており、その時にVPI値は1バイト目の後半部分と2バイト目の前半部分とに挿入されており、VPI検出部2はこの部分のVPI値を検出するものである。

10 【0020】ALM検出部3は伝送路障害を検出するものであるために、伝送信号のSOH(セクションオーバヘッド)を見て検出するようになっている。

[0021]

【発明の効果】この様に、本発明によれば、特定バス障害のOAMセル受信時の対向局へのOAMセル送出部と、伝送路障害時に設定されているバスについて対向局へのOAMセル送出部とを共通にしたので、回路構成が簡単になるという効果がある。

【図面の簡単な説明】

20 【図1】本発明の実施例のブロック図である。

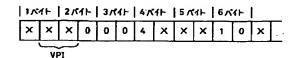
【図2】OAMセル検出部1の検出セルバターンを示す 図である。

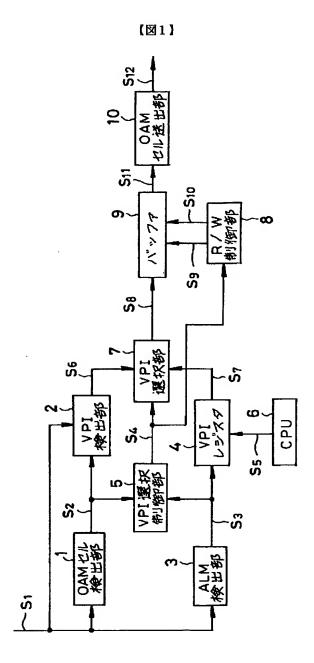
【図3】従来のOAMセル送出回路の一例を示すブロック図である。

【符号の説明】

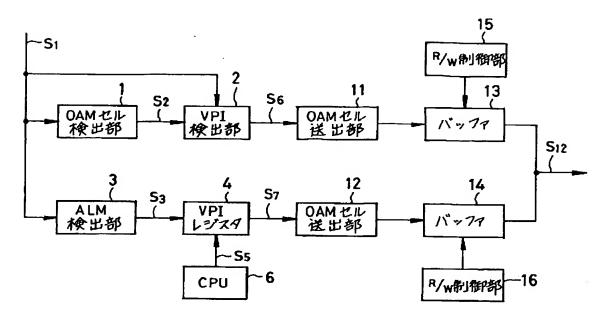
- 1 OAMセル検出部
- 2 VPI 検出部
- 3 ALM検出部
- **4 VPIレジスタ**
- 5 VPI選択制御部
- 6 CPU
- 7 VPI選択部
- 8 R/W制御部
- 9 バッファ
- 10 OAMセル送出部

【図2】





【図3】



フロントページの続き

(51) Int. Cl. 6 H O 4 Q 3/00 識別記号 庁内整理番号

FΙ

技術表示箇所